



令和4年12月9日(金)

校長室より⑬①



こんにちは。

3・4時間目に5年ぶりぐらいに大好きな理科の授業をさせていただきました。5年生の「物のとけ方」という勉強でした。ここ数年、書写の授業はときどきやっていましたが、それ以外の教科は全くやっていませんでした。だから、昨夜から「いったい、どんな授業になるんだろう。」「うまくいかなかったら、どうしよう。」等の不安だらけでした。1時間目にたまたま理科室が空いていたので、授業の準備を始めました。ところが、理科室のどこに何があるのかさっぱりわからなくて、理科主任の峯尾先生に何回も聞きながら、食塩水とミョウバン水をそれぞれ 1000 ミリットル作ったり、実験道具を班ごとに揃えたりしました。そうこうしているうちにだんだん楽しくなってきた、「早く3時間目にならないかなあ。」と思うようになりました。昨夜の不安だらけは、いつの間にかどこかに飛んでいってしまいました。

3時間目になって、5年生が待っている理科室に行きました。5年生のみんなも楽しみにしてくれていたようでした。私の質問に、たくさんの子が手を挙げて答えてくれました。楽しい2時間は、あっという間に終わってしまいました。続きは、月曜日の5・6時間目に行きます。他の学年でも理科の授業をしたくなってしまうかもしれません。